

新型シェルターの作成方法

(私なりの電磁波防御方法)

はじめに

現在、行われている集団ストーカー犯罪、思考盗聴、電磁波による身体攻撃等に対抗する、シェルターの作成方法について、この文書は説明したものです。水上英次氏のインターネットの記事よれば、警察組織が秘密裏に打ち上げた人工衛星によって人間の位置情報や脳波を傍受する最新式の技術で、罪の無い一般市民に攻撃を加え、恐怖に陥れて楽しんでいるという実態があります。このような性根の腐った、又、悪意に満ちた組織犯罪の効力を最小限にするための提案です。

人工衛星は全部で5基あり、レーダー衛星が2基、光学衛星が3基で1基の光学衛星は予備とされています。

従って、人工衛星のレーダー装置とターゲットにされた人から出ている脳波をアクリル板（プラスチック板）（厚さ5mm）によって遮断することによって正確な電磁波のピンポイント攻撃から身体を守ることが出来ます。

女性でも、簡単に組み立てる工法を考えましたので、参考にして下さい。

又、新築で、屋根全面にアクリル板（厚さ5mm）を敷く方法。

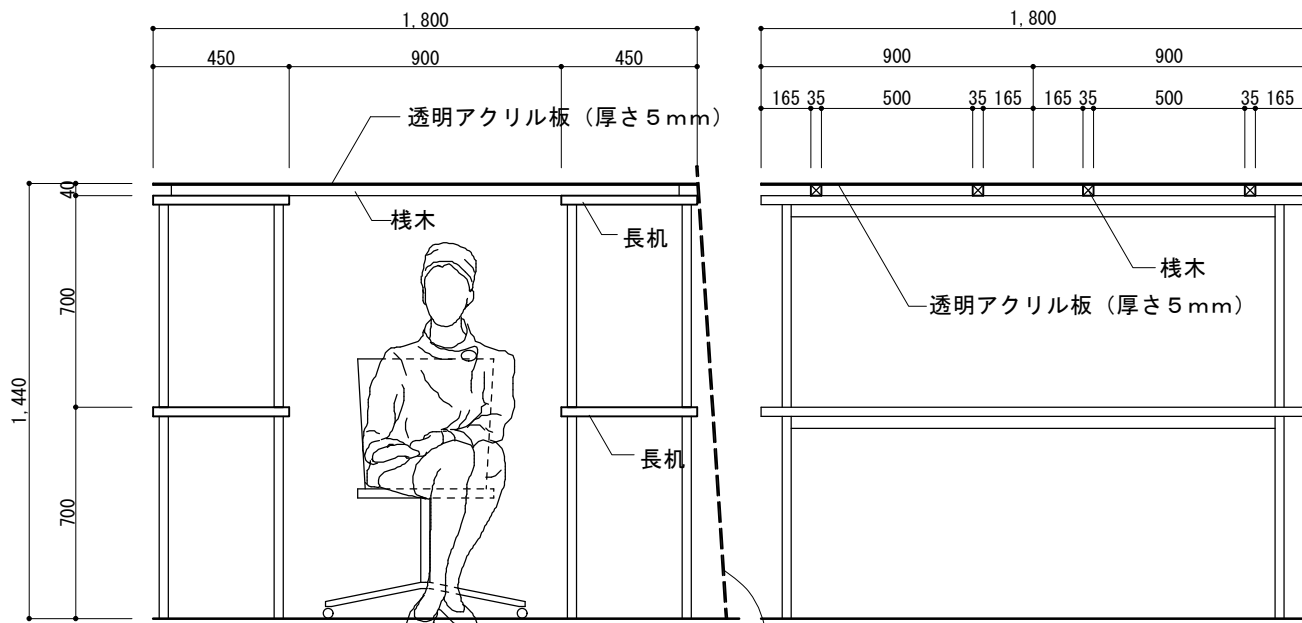
総2階建ての住宅を借りて、2階床一面にアクリル板（厚さ5mm）を敷き1階で暮らす（2階を物置にする）方法も、もちろん、もっと有効であることは間違いありません。

A. シェルターの作成方法 (効果：位置情報攪乱、電磁波攻撃遮蔽、思考盗聴遮蔽)

1. 使用材料 (面積1坪の場合)

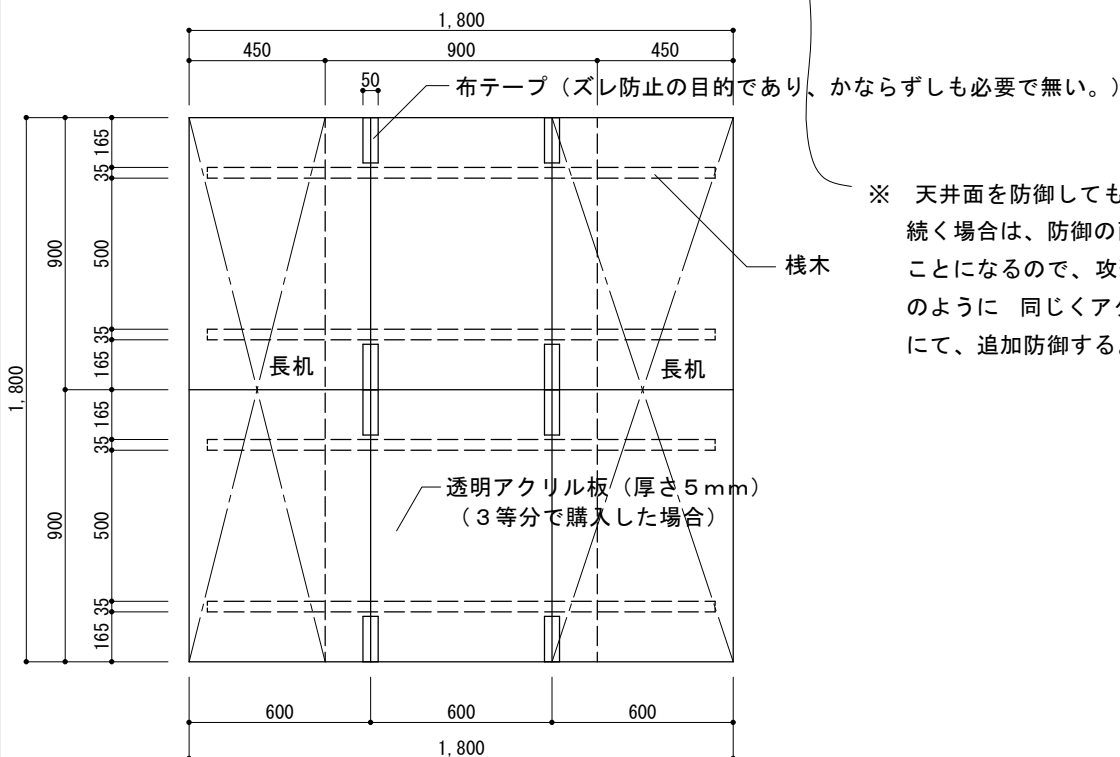
- ① アクリル板 (厚さ5mm) 1. 8m x 0. 9m (程度) 2枚
(運び安いように、店で2等分又は3等分にしてもらって購入する。)
- ② 長机 長さ1. 8m x 奥行き45cm (机の長さは1. 5mでも可) 4台 (又は6台)
- ③ 栈木 長さ1. 8m x 3. 5cm x 3. 5cm (程度) 4本

2. 組み立て図 (下図参照) (単位：mm)



断面図1 1 : 25

断面図2 1 : 25



平面図 1 : 25

※ 天井面を防御しても近隣からの攻撃が続く場合は、防御の面積が不足していることになるので、攻撃の方向に、この図のように 同じくアクリル板：厚さ5mmにて、追加防御する。

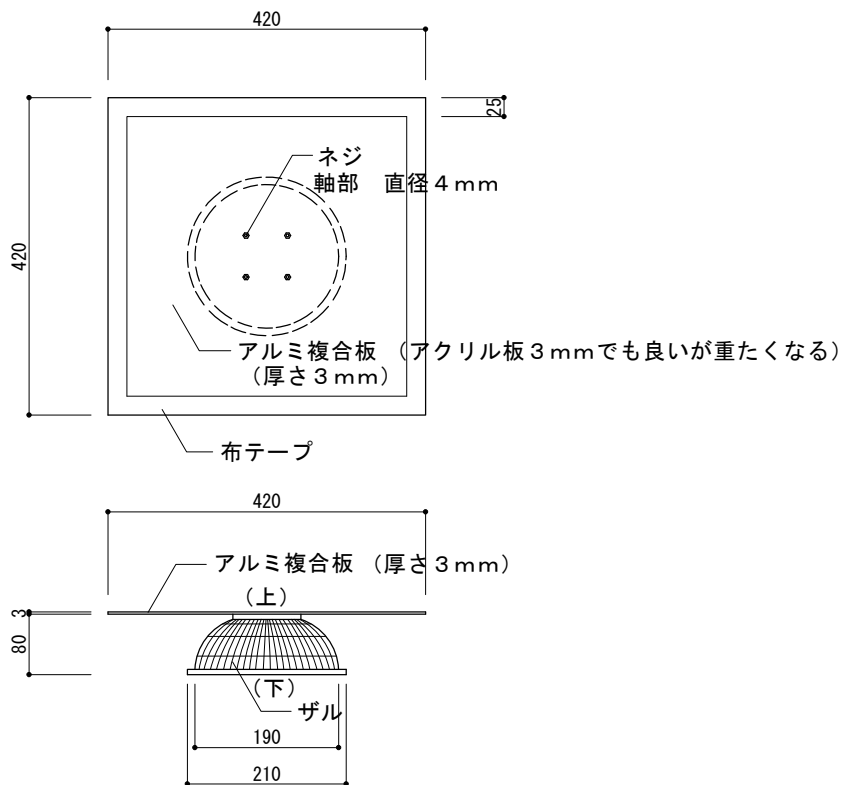
B. かぶり物の作成方法

※就寝時に使用 (手や足などの就寝時の部分攻撃に効果あり：位置情報の攪乱に有効)

1. 使用材料

- ① アルミ複合板 (厚さ3mm) 42cm x 42cm (程度) 1枚
(アルミ複合板とは発砲ポリエチレンフォームの両面にアルミ箔を貼ったもの)
- ② プラスチック製のザル 内側径19mm、外側径21mm 1枚(博多駅横交通センターのダイソーにある)
- ③ ネジ 軸部 直径4mm 4本
- ④ 布テープ (養生用) 幅5cm

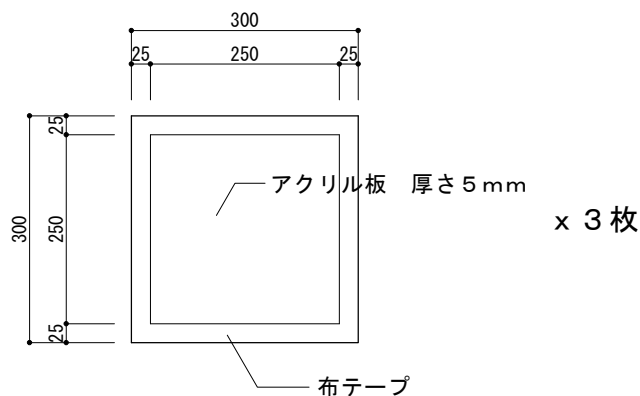
2. 組み立て図 (下図参照) (単位: mm)



C. 防御版 (アクリル板: 厚さ5mm) ※就寝時に使用 (手や足などの就寝時の部分攻撃に遮蔽効果あり。)

1. 使用材料

- ① アクリル板 厚さ5mm 30cm x 30cm
- ② 布テープ (養生用) 幅5cm

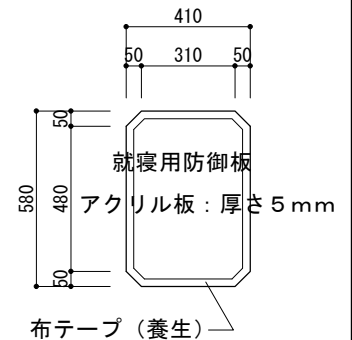


D. 外出時の防御方法

1. 使用材料 アルミ複合板（厚さ3mm）を2枚重ねにしてA4サイズで作る。
アクリル板（厚さ5mm）のA4サイズでもよい。
2. 上記の防御板を常時バッグの中に入れておき、電車やバスの中では、攻撃の方向に向けて、痛みを抑える。

E. 宿泊先（旅行など）での防御方法

1. 使用材料（追加分） アクリル板：厚さ5mm 41cm x 58cmを4枚作る。
2. 旅先に持って行くもの 及び使用方法
 - ① 右記サイズのアクリル板（4枚）が入るスーツケース
 - ② 就寝用防御板 4枚（シーツの上に敷いて就寝する）
 - ③ かぶり物（2ページBのもの）（就寝時にかぶる）
 - ③ 防御板 x 3枚（2ページCのもの）（攻撃時に防御する）



F. 家宅侵入対策 防犯カメラを使用

1. 使用機材

- | | |
|------------|--|
| 防犯カメラ（室内用） | 赤外線暗視カメラ仕様 |
| 防犯カメラ（外部用） | 赤外線暗視カメラ仕様 |
| ビデオレコーダー | （防犯カメラ専用で、30日間データが保存出来るもの。リモコン操作のものはNG。）
（1台で4チャンネル程度のものが良い。モニター1台で済む。） |
| モニター | 19インチ程度のカラーテレビ |

2. 取り付け優先順位（一軒家の場合）

- ① 玄関の内側（ドアの出入りを監視）
- ② 玄関の外側（ドアの出入りを監視）
- ③ テラス戸の外側（テラス戸の出入りを監視）
- ④ 建物の周囲（敷地全体を監視）
- ⑤ 門（インターホン位置）（訪問販売・配達人を監視）

3. 取り付け優先順位（マンションの場合）

- ① 玄関の内側（ドアの出入りを監視）
- ② バルコニー両サイド（テラス戸の出入りを監視）
- ③ TVモニター付きインターホンに取り替える。（ドアの外側を監視）

その他の注意事項（やっても効果が無い）

1. 玄関の鍵は換えても意味が無い。（通常の戸締まりは必要だが、外出時は鍵は無いものと思った方が良い。）
警察組織が絡んでいると思われるので、どんなに取り替えても、メーカーから情報を得て、合鍵が作られる。
2. 音が鳴る防犯ライトは、悪作をされて、鳴らされる。喧しいので、付けない方が良い。
3. 玄関ドアに取り付けるブザー
防犯カメラがあれば、ブザーは無いほうが良い。誤作動すれば、喧しい。
4. 玄関内側にビデオカメラを設置しても、室内に入られたら画像は操作が簡単であることからデータは消去される。
5. 外出時にマンションのドアの外側から、進入の形跡を見るために、目張りをするなどは、頭がおかしいと思われるし、手間でもあるので、やめた方が良い。
6. 家宅侵入には、あまり気にしないという選択肢もある。
これまでの経験上、家宅侵入をされても、大金が盗まれることは無い。
室内のものを移動させたり、さほど重要でないものを、一回盗んで、後日戻すなど、些細ないたづらが殆どである。
犯罪組織の目的は、被害者を精神病に誘導または同等の扱いに持って行くことである。